アドビ認定プロフェッショナル対応
Illustrator 2022/2023 試験対策

テキスト差分解説

2021 年 6 月に資格名称がアドビ認定アソシエイト「Adobe Certified Associate（ACA）」から「アドビ認定プロフェッショナル（Adobe Certified Professional）」へ変更になりました。

2023 年 10 月
株式会社オデッセイ コミュニケーションズ

テキスト差分解説

はじめに

アドビ認定プロフェッショナル（Adobe Certified Professional）※は、アドビが認定する Adobe Photoshop や Adobe Illustrator など、アドビのアプリの利用スキルを証明する国際資格です。
※2021 年 6 月に資格名称がアドビ認定アソシエイト「Adobe Certified Associate（ACA）」から「アドビ認定プロフェッショナル（Adobe Certified Professional）」へ変更になりました。

本資料「テキスト差分解説」について

本資料は、アドビ認定プロフェッショナルの「Graphic Design & Illustration using Adobe Illustrator 2022（v26.x）」試験および「Graphic Design & Illustration using Adobe Illustrator 2023（v27.x）」試験の学習を、書籍「ACA アドビ認定アソシエイト対応　Illustrator CC 試験対策」を使用して行う際の相違点および差分を抜粋してまとめたものです。Illustrator CC 2015 以降の新機能をすべて網羅するものではありません。

学習環境について

本資料は、以下の環境での画面および操作方法で記載しています。環境によっては、本資料と画面の表示が異なる場合や、記載の操作が行えない場合があります。あらかじめご了承ください。

- OS：Windows 10 Pro（64 ビット）
- アプリケーションソフト：Adobe Illustrator 2022（v26.x）以降

アドビ認定プロフェッショナルに関する情報はこちらから

公式サイト　https://adobe.odyssey-com.co.jp/

- 株式会社オデッセイ コミュニケーションズは、本資料および対策テキストの使用によるアドビ認定プロフェッショナルの合格を保証いたしません。
- アドビ認定プロフェッショナル（Adobe Certified Professional）、Adobe Certified Professional ロゴ、Illustrator は、Adobe Inc.（アドビ）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、すべて関係各社の商標または登録商標、商品名です。
- 本文中では、™マーク、®マークは明記しておりません。
- 本資料に掲載されている全ての内容に関する権利は、株式会社オデッセイ コミュニケーションズ、または、当社が使用許諾を得た第三者に帰属します。株式会社オデッセイ コミュニケーションズの承諾を得ずに、本資料の一部または全部を無断で複写、転載・複製することを禁止します。
- 本資料に掲載されている情報、または、本資料を利用することで発生したトラブルや損失、損害に対して、株式会社オデッセイ コミュニケーションズは一切責任を負いません。

試験の出題範囲と本書の対応

『Graphic Design & Illustration using Adobe Illustrator 2022（v26.x）/2023（v27.x）』の出題範囲と「ACA アドビ認定アソシエイト対応　Illustrator CC 試験対策」で解説している対応表です。学習の参考にしてください。

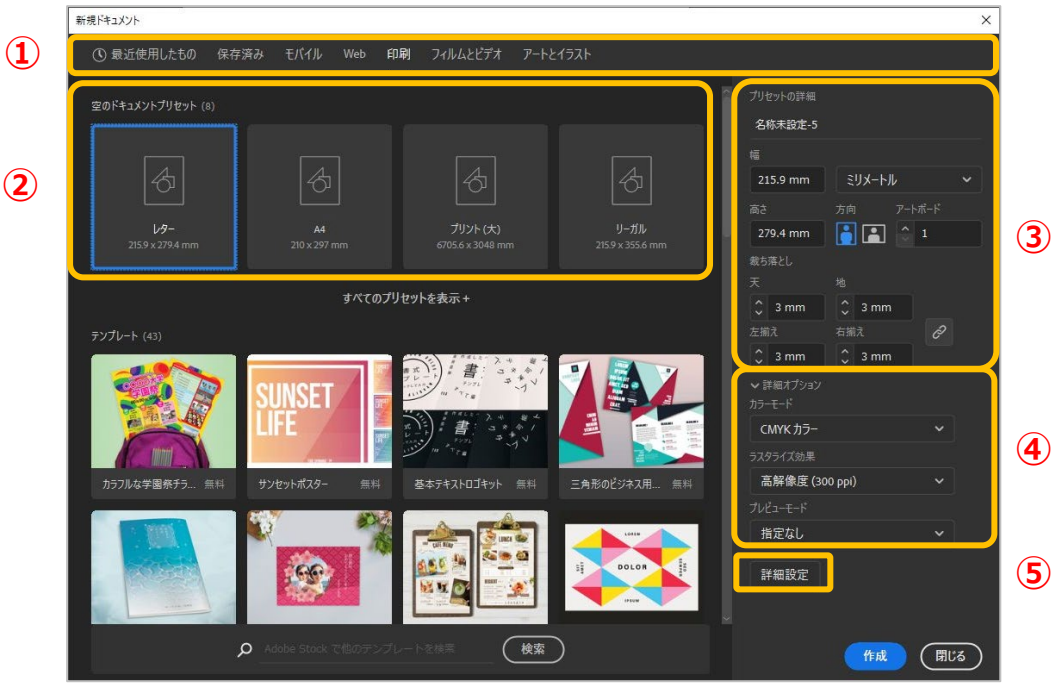
大分類	小分類	対応する章
1.0 デザイン業界で働く	1.1 デザインやアートワークの目的、対象者、対象者のニーズを特定する 1.2 デザインプランについて同僚や顧客とコミュニケーションをとる 1.3 特定の内容を使用するために必要な著作権、許可、ライセンスの種類を特定する 1.4 デジタル画像に関する主な用語についての理解を示す 1.5 デザインの基本原則、およびビジュアル デザイン業界におけるベストプラクティスについての知識を示す	2 章 4 章 11 章
2.0 プロジェクトの環境設定とインターフェース	2.1 モバイル端末用、ウェブ用、印刷用、フィルムや動画用、アートやイラスト用にドキュメントを適切な設定で作成する 2.2 アプリケーションのワークスペースを切り替える、整理する、カスタマイズする 2.3 印刷されないデザインツールを画面に表示して、デザインや作業を行いやすくする 2.4 プロジェクトのアセットを管理する 2.5 色、スウォッチ、グラデーションを管理する 2.6 プリセットブラシ、シンボル、スタイル、パターンを管理する	2 章 4 章 5 章 9 章
3.0 ドキュメントの整理	3.1 レイヤーを使用してデザイン要素を管理する 3.2 不透明度、マスクを使用してレイヤー表示を変更する	4 章 6 章 9 章
4.0 視覚的要素の作成と変更	4.1 主要なツールや機能を使用してビジュアル要素を作成する 4.2 適切なタイポグラフィの設定を使用してテキストを追加する、操作する 4.3 選択範囲を作成する、管理する、操作する 4.4 デジタル画像やメディアを変換する 4.5 再構成や編集の基本的技法を使ってデジタル画像やメディアを操作する 4.6 効果やグラフィックスタイルを使用してデザイン要素のアピアランスを変更する	2 章 3 章 5 章 6 章 7 章 8 章
5.0 デジタルメディアの公開	5.1 ウェブ用、印刷用、動画用の画像を準備する 5.2 デジタル画像をさまざまなファイル形式に書き出し、保存する	10 章

© 2023 Odyssey Communications, Inc.

第 1 章　新規ドキュメントを作成する（テキスト 4・9 ページ）

2.2　ドキュメントの作成（テキスト 41 ページ）

新規ドキュメント作成画面が変更されました。



① 新規ドキュメントの使用用途を選択します。

② 新規ドキュメントのサイズを選択します。

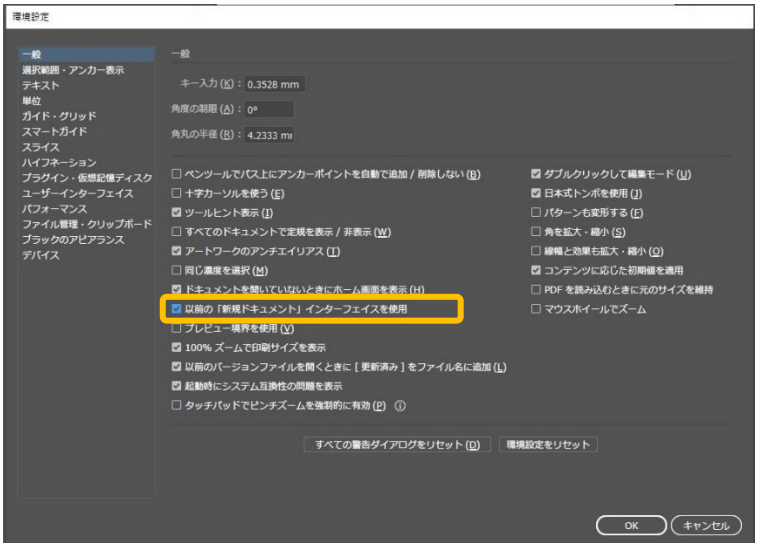
③ 新規ドキュメントの名前やサイズ、方向、アートボード数などを設定します。

④ 詳細オプションを展開すると、カラーモード、ラスタライズ効果などを設定できます。
詳細オプションの設定は、後から変更も可能です。カラーモードは、［ファイル］メニュー→［ドキュメントのカラーモード］、ラスタライズ効果は、［効果］メニュー→［ドキュメントのラスタライズ効果設定］から変更します。

⑤ ［詳細設定］から以前の新規ドキュメントと同様のダイアログボックスを開くことができます。

以前の新規ドキュメント画面を使用する場合には、［編集］メニュー→［環境設定］→［一般］を選択します。表示される［環境設定］ダイアログボックスで［以前の「新規ドキュメント」インターフェイスを使用］をオンにします。

［環境設定］ダイアログボックスでは、このほかにもファイルの保存オプション、使用する単位、ガイドやグリッドの設定、テキストオブジェクト挿入時のサンプルテキストの表示の有無など、Illustrator の既定の動作や設定を行うことができます。

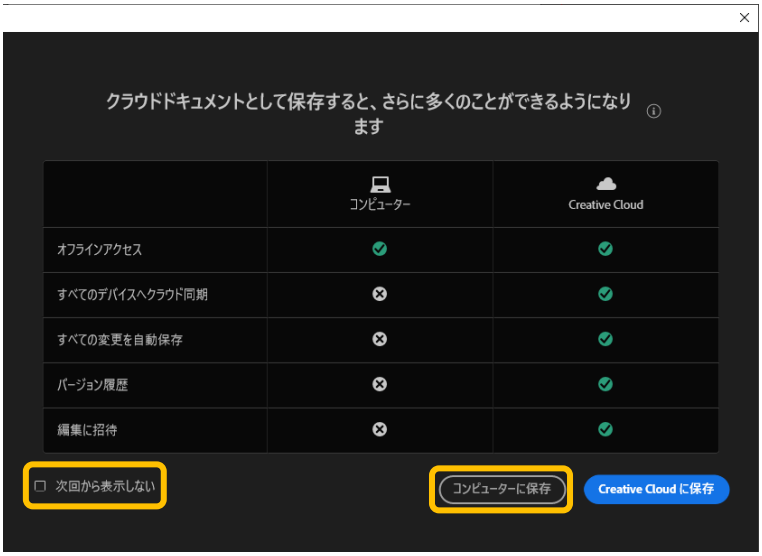


© 2023 Odyssey Communications, Inc.

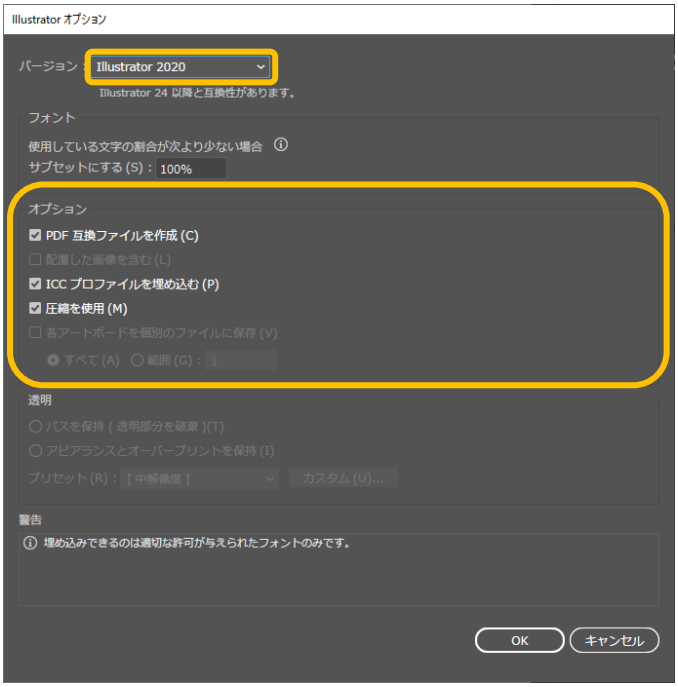
第 1 章　ファイルを保存する（テキスト 8 ・ 15 ・ 21 ・ 28 ページ）

2.3　ドキュメントを開く、保存する（テキスト 43 ページ）

編集したファイルの保存操作では、保存先を選択する画面が表示されるようになりました。
［コンピューターに保存］をクリックすると、使用しているパソコンに保存することができます。
［次回から表示しない］にチェックを入れると、対策テキストと同じ挙動になります。



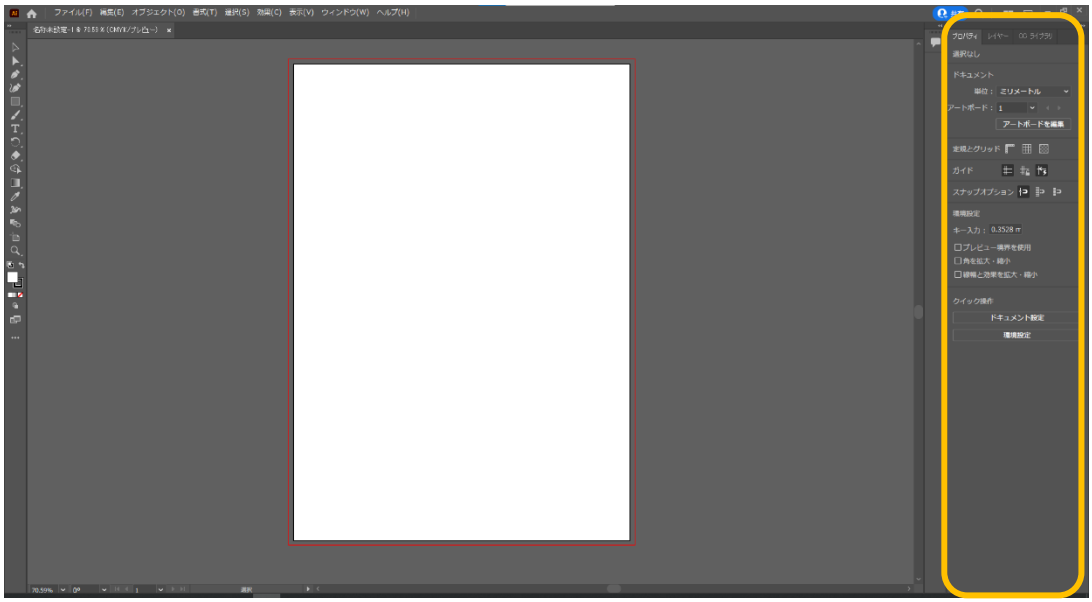
保存時に表示される［Illustrator オプション］ダイアログボックスは、既定のバージョンが［Illustrator 2020］に変更されました。保存したファイルを CC2019 以前の CC バージョンで開けるようにする場合は、［Illustrator CC（レガシー）］を選択します。オプションの［PDF 互換ファイルを作成］にチェックを入れると、Photoshop や Adobe Acrobat Reader などの PDF 形式に対応したアプリケーションでも、Ai ファイルを開くことができます。



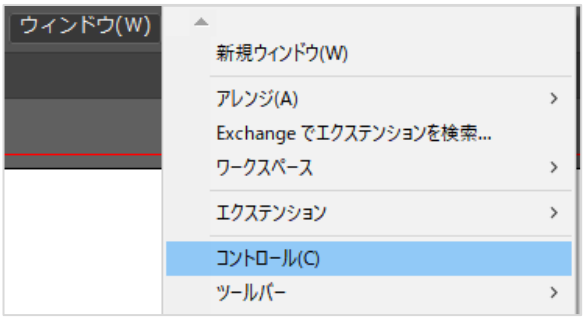
© 2023 Odyssey Communications, Inc.

2.1 画面構成/ワークスペースの管理（テキスト 30・32 ページ）

初期設定のワークスペースが変更されました。CC18 以降、コントロールパネルは非表示になり、パネルアイコンは［コメント］のみの表示になりました。また、［プロパティ］・［レイヤー］・［CC ライブラリ］パネルが画面右側に表示されるようになりました。［プロパティ］パネルの内容や設定オプションは、選択されているオブジェクトによって切り替わります。



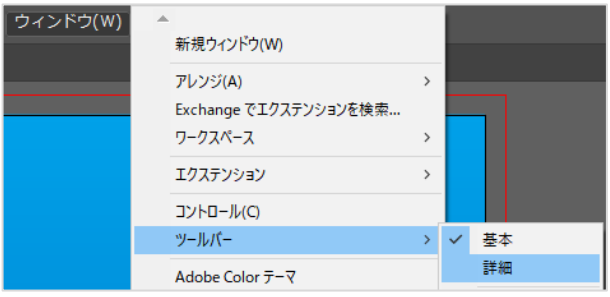
コントロールパネルを表示するには［ウィンドウ］メニュー→［コントロール］を選択します。



2.1 画面構成/ツールパネル（テキスト 34～36 ページ）

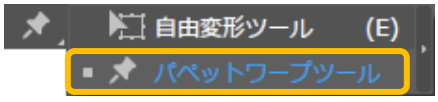
初期設定では、ツールパネルには［基本］設定のツールのみが表示されます。すべてのツールを表示するには［ウィンドウ］メニュー→［ツールバー］→［詳細］を選択します。

また、［自動選択ツール］ など、各種ツールアイコンのデザインが一部変更されています。



アートワークを自由に変形できる［パペットワープツール］が追加されました。使用方法は、本資料 9 ページ「6.4 オブジェクトの変形/パペットワープツール」で説明します。

⑯

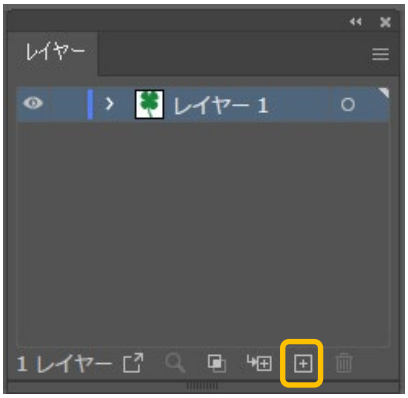


© 2023 Odyssey Communications, Inc.

2.1 画面構成/主なパネル（テキスト 32・38・39 ページ）

タイトルバー右側のワークスペースを切り替えるボタンのデザインが変更され、［ワークスペースの切り替え］という名前のアイコンになりました。
アイコンをクリックして表示されるメニューからワークスペースを切り替えることができます。現在使用しているワークスペースは、ワークスペース名の左側にチェックがつきます。

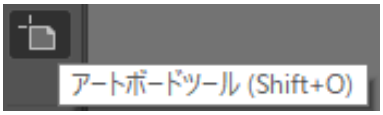
パネルやダイアログボックス内の新規作成アイコンが変更されました。
右の図は、［レイヤー］パネルの［新規レイヤーを作成］アイコンです。



［Adobe Color テーマ］パネル（旧［Color テーマ］パネル）が削除されました。詳細は、本資料 7 ページ「4.2 色の設定/Color テーマパネルを開く」で説明します。

2.2 ドキュメントの作成/アートボードの変更と作成（テキスト 42 ページ）

ツールパネルの［アートボードツール］アイコンがデザイン変更されました。



アートボードが複数ある場合は、コントロールパネルまたは［プロパティ］パネルにある［すべて再配置］をクリックすると、レイアウトや順序を変更できます。

© 2023 Odyssey Communications, Inc.

4.2 色の設定/Color テーマパネルを開く（テキスト 92 ページ）

［Adobe Color テーマ］パネル（旧［Color テーマ］パネル）が削除されました。

代替ソリューションとしては、Web 上で Adobe Color にアクセスする方法があります。Adobe Color の Web サイトからテーマを自分のライブラリに保存すると、自動的に Illustrator の［CC ライブラリ］パネルに同期されます。
［CC ライブラリ］パネルに保存されたテーマは［スウォッチ］パネルに追加できます。また、［カラーガイド］パネルから作成したカラーグループも［スウォッチ］パネルに追加できます。

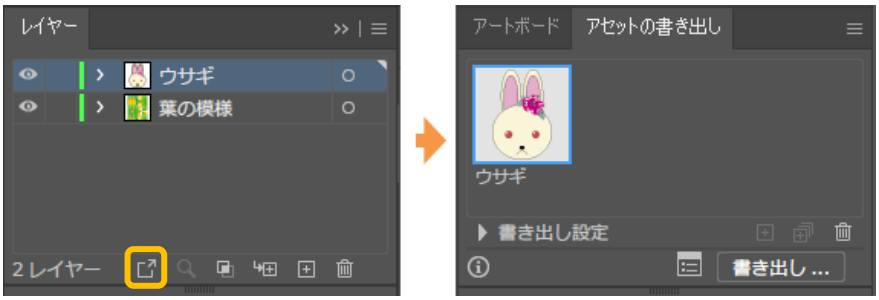
4.3 グラデーション（テキスト 98 ページ）

［グラデーション］パネルの表示が変更されました。
グラデーションの種類も［線形グラデーション］、［円形グラデーション］、［フリーグラデーション］の 3 つに変更され、アイコンをクリックして切り替えます。［塗りと線］の下にある［反転グラデーション］アイコンをクリックすると、グラデーションの方向を反転できます。

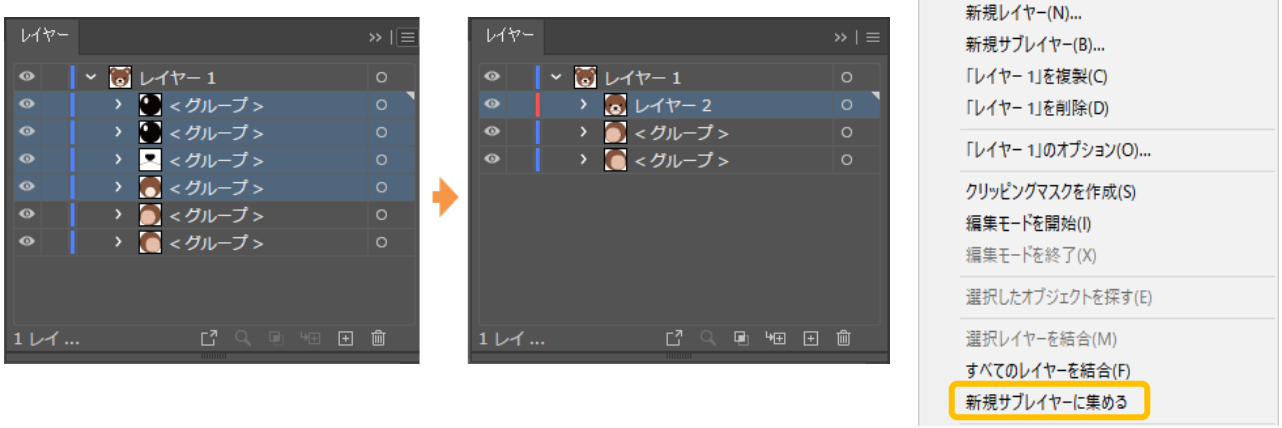
© 2023 Odyssey Communications, Inc.

6.3 ［レイヤー］パネル/レイヤーの結合（テキスト 160・162 ページ）

［レイヤー］パネルに［書き出し用に追加］アイコンが追加されました。
選択したレイヤーのアートワークがひとつのアセットとして［アセットの書き出し］パネルに追加されます。



レイヤーパネルメニューの［新規レイヤーに集める］のメニュー名が［新規サブレイヤーに集める］に変更されました。
まとめたいレイヤーを選択して［新規サブレイヤーに集める］をクリックすると、選択したレイヤーは新たに作成されたサブレイヤーにまとめられます。

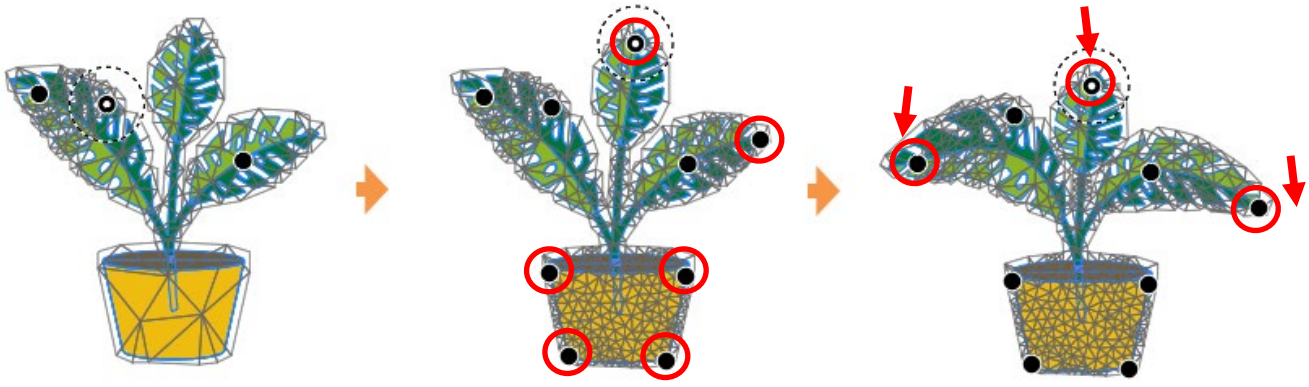


作成したサブレイヤーのサムネイルをクリックして［レイヤーオプション］ダイアログボックスを表示すると、レイヤー名やレイヤーカラーを変更できます。また、テンプレートレイヤーへの変更やロック、表示、印刷設定もできます。

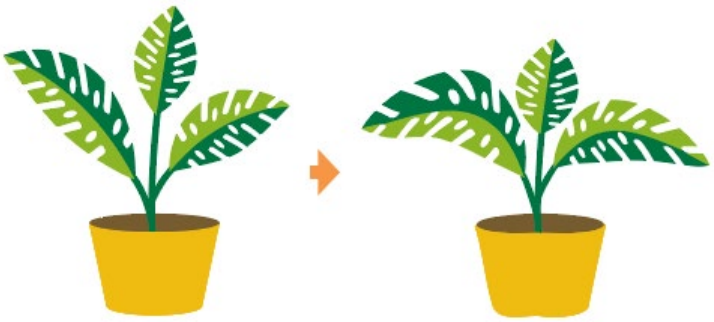
© 2023 Odyssey Communications, Inc.

6.4 オブジェクトの変形/パペットワープツール

CC18 よりツールパネルに［パペットワープツール］が追加されました。パペットワープツールは、選択したアートワークを自由に変形するツールです。
アートワークを選択後、［パペットワープツール］をクリックするとメッシュで覆われてピンが追加されます。ピンはクリックで追加、［Delete］キーで削除できます。ピンは変形する領域だけでなく、変形時に連動して動かないように固定したい領域にも追加できます。変形する領域のピンをドラッグしたり、ピン周囲の点線の円を回転させたりしてオブジェクトを変形します。



パペットワープツールを選択　　ピンを追加　　ピンを下方向にドラッグして変形



7.2 文字の配置/［段落］パネル（テキスト 189・190 ページ）

CC22 のバージョン 26.4.1 より、［段落］パネルに［箇条書き記号］と［自動番号］が追加されました。段落ごとに記号や連続番号を表示することができます。

箇条書き記号

- 伊藤
- 浅沼
- 矢ヶ崎

自動番号

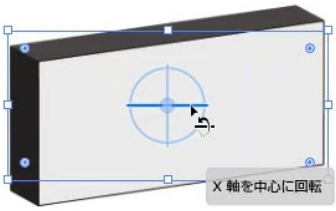
1. 伊藤
2. 浅沼
3. 矢ヶ崎

© 2023 Odyssey Communications, Inc.

8.1 オブジェクトの効果/3D（テキスト 199～202 ページ）

「3D」機能が強化されました。オブジェクトを選択して、［効果］メニュー→［3D とマテリアル］から使用したい効果を選ぶと［3D とマテリアル］パネルが表示されます。［3D とマテリアル］パネルは、［ウィンドウ］メニュー→［3D とマテリアル］からも表示できます。

［オブジェクト］タブでは 3D の種類、回転角度や奥行きなどを設定できます。回転角度はオブジェクトをマウスで操作して、直感的に決めることもできます。



ワイヤフレームで表示したい場合は［クイック操作］の［ワイヤフレームとして拡張］をクリックします。

［マテリアル］タブでは、オブジェクト表面へのテクスチャの適用や、グラフィックのマッピングができます。

［ライト］タブでは、オブジェクトに当てる光の角度や明るさなどを設定できます。

以前の 3D 機能を使用する場合には、［効果］メニュー→［3D とマテリアル］→［3D（クラシック）］から効果を選択します。

10.1 印刷と公開の準備/ピクセルグリッドに整合（テキスト 252・253 ページ）

［変形］パネルから［ピクセルグリッドに整合］が削除されました。
「ピクセルグリッドに整合」を行うには、オブジェクトを選択して、コントロールパネルにある①のアイコン［選択したアートをピクセルグリッドに整合］をクリックします。オブジェクトを右クリックして表示される［ピクセルグリッドに最適化］からも同様の操作が行えます。
新規ドキュメント画面からも［新規オブジェクトをピクセルグリッドに整合］の項目が削除されました。
新規に作成するオブジェクトをピクセルグリッドに整合させるには、②をクリックします。

① 選択したアートをピクセルグリッドに整合します
② 作成および変形時にアートをピクセルグリッドに整合します

10.2　ファイル形式/SWF（テキスト 259 ページ）

Adobe Flash Player で再生可能な動画形式である、SWF（スウィフ）形式での保存はできなくなりました。Adobe Flash Player は 2020 年末でサポートが終了しています。

© 2023 Odyssey Communications, Inc.

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CC ライセンス）

本来、動画・写真・音楽などの作品には著作権があり、無断で二次利用をすることは著作権違反となります。しかしながら、インターネットの普及により、作品によっては別サイトや SNS での二次利用からの利益増加を見込めるケースもあるため、「All rights reserved（著作権保持）」と「No rights reserved（著作権放棄）」の中間となるライセンスとして「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」が生まれました。作者は CC ライセンスを使用することで、著作権を保持した状態で作品を広めることができるようになりました。なお、Illustrator では［ファイル］→［ファイル情報］を選択して表示される画面内でファイルの著作権の状態を確認できます。
「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」は 4 種類の条件を示したアイコンがあり、それらを組み合わせた 6 つのライセンスで構成されます。

4 種類の条件（アイコン）

	BY（表示）	作品のクレジットを表示すること
	NC（非営利）	営利目的での利用をしないこと
	ND（改変禁止）	元の作品を改変しないこと
	SA（継承）	元の作品と同じ組み合わせの CC ライセンスで公開すること

6 つのライセンス

 表示	原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高い CC ライセンス
 表示-継承	原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、改変した場合には元の作品と同じ CC ライセンス（このライセンス）で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用も許可される CC ライセンス
 表示-改変禁止	原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ元の作品を改変しないことを主な条件に、営利目的での利用（転載、コピー、共有）が行える CC ライセンス
 表示-非営利	原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であることを主な条件に、改変したり再配布したりすることができる CC ライセンス
 表示-非営利-継承	原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせの CC ライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができる CC ライセンス
 表示-非営利-改変禁止	原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できる CC ライセンス

引用元：データ・資料｜クリエイティブ・コモンズ・ジャパン（https://creativecommons.jp/licenses/）

© 2023 Odyssey Communications, Inc.